
~ 失樂園 ~

ひにまる

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

〜失樂園〜

【コード】

N9390Z

【作者名】

ひにまる

【あらすじ】

楽園へようこそ

エブリスタでも重複投稿してます

愚者が問う。

“ 貴殿方に不要なものは何か？ ”

吟い人、かく語りき。

“ それは情です。情あるが故に、私は惑い、狂喜し、嘆き、悲しむのです。 ”

隷属者、かく語りき。

“ 自由でございます。私共は主人の赦しなしに行動することが出来ません。又、自由を得たとしても、生きる術などないのでございます。 ”

戦士、かく語りき。

“ おそらく力だろう。理由は様々あるだろうが、力があるから我々は、武器持て戦うのだ。 ”

十字の使徒、かく語りき。

“ 愛は、人類には過ぎた財産です。愛があるからこそ、我ら迷える子羊はそれを理由に掲げ、争うのです。 ”

商い人、かく語りき。

“ 我々にとって、もっとも不要なものは金だ。金という分かりやすい利益基準があるから、我々はそれを求め、争うのだよ。 ”

為政者、かく語りき。

“ 民草だ。あれらのおかげで余が頭を悩ませなくてはならないなど、言語道断。実にけしからん。 ”

哲人、かく語りき。

“ 智だな。それさえ持たなければ人類は、荒々しくも美しい、自然の理の内に在り続けられただろう。”

愚者、再び問う。

「では、貴殿方が欲するものは何か？」

「情さ。」

「自由にごぞいます。」

「力だ。」

「愛です。」

「金だよ。」

「民草だ。」

「智だ。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9390z/>

～ 失楽園 ～

2011年12月29日12時48分発行